

## 今大会を顧みて

日本教職員バドミントン連盟  
副会長 稲石 一雄

平成7年度、第34回大会以来、2度目の鳥取県開催でした。今回は私が理事長になった年でしたので、大変懐かしく参加しました。20年前とは色々なものが変わりました。あの頃は競技委員長と審判長を任命していました。今はレフェリーが統括します。会場のエアコンは使わない、というより設置されていない会場の方が多かった時代です。今回は寒いくらいにエアコンが効いていました。今回はオリンピックと会期が重なりましたが、あの頃は3年前のアトランタ大会で正式種目になったばかりでした。今回は金メダルと銅メダルを取りました。男子複の遠藤選手は帰山本連盟理事の教え子です。銅メダルの奥原選手は上田理事の勤務校の卒業生です。帰山理事も上田理事も、20年前は選手で出ていました。しかし、変わらないのはこの大会に出場している皆さんの指導にかける情熱とプレーに参加する心意気です。そして、開催地のおもてなしの心です。レセプションでは郷土芸能の麒麟獅子舞と伝統的な傘踊りが披露されました。会期中はちょうど「鳥取しゃんしゃん祭」が行われていたので、鳥取市内は賑やかでした。

今回のハイライトは鳥取県の大活躍です。一般男子団体、一般男子複、30歳以上男子複の優勝など優秀な結果を残し、総合4位になりました。鳥取県の山本会長も60歳以上男子単で3位になりました。開催地の会長として練習もままならなかったろうと思いますが、よく頑張ってくださいました。5月に大地震があった熊本県勢も積極的に参加してくれ、成壮年女子団体を含め7種目で優勝し、総合で3位になりました。総合優勝は今回も東京でした。参加数が多いことも一つの要因です。しかし東京の優勝は1種目のみでしたのに、一般女子複のベスト8に3組、50歳以上女子単のベスト4に3人残るなど多くの選手が勝抜点をコツコツと積み上げました。

今回の会場は両体育館とも鳥取空港からもJR鳥取駅からも近く、宿舎も鳥取市内なのでとても楽でした。両体育館とも空調が良く効いていたので選手も楽だったのではないのでしょうか。ちなみに県民体育館のあるコカ・コーラ ウェスト スポーツ パークは、陸上競技のジャマイカチームが世界選手権で合宿地にした陸上競技場を含む総合体育施設です。ジャマイカチームは4年後の東京オリンピックでもこの競技場を合宿地の候補にしているそうです。大会の運営も順調でした。試合後の選手と審判の握手も定着してきました。ただ、ベンチに入る監督・コーチの服装について何件かレフェリーが注意をしたようです。代表者会議で連絡していますので、各支部連盟の代表は必ず参加して欲しいものです。

最後になりましたが、今回の実施について鳥取県バドミントン協会、教職員連盟をはじめ、多くの関係者の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。心より御礼申し上げます。



麒麟獅子舞  
かまれると、(ご利益)毛が生える？



因幡の傘踊り



握手で喜ぶ辻中理事長と山本会長



団体戦優勝を喜ぶ加藤県協会会長